

● 内政

1 リビングストーン市長、収賄事実はあるも無罪

予てより汚職疑惑が報じられていたリビングストーン市長について、判事は判決を述べ、金銭の授受はあり収賄事実は認められるものの、検察側の立証プロセスに不備があるとして無罪とした。当該判決についてはメディア各社、国際NGOなどは疑義を表し、判決内容以前に収賄事实在認められた以上、市長は道義的に辞任をすべきと表した。また、検察側は無罪判決を不服とし、上訴した。

（関連報道まとめ News Diggers）

2 大統領、CCTV 法案を差し戻し

ヒチレマ大統領は、CCTV による公共空間の保護法案に対して、市民のプライバシー侵害の怖れが高いと判断し、利害関係者との再協議を含めた国民議会での審議差し戻しを命じた。（2月7日付 News Diggers）

3 国際NGO、ザンビアの腐敗認識指数の悪化を報告

国際NGOであるトランスペアレンシーインターナショナル・ザンビア（TIZ）は、ザンビアの腐敗認識指数（CPI）が2024年の39から2025年の37に下落したことを公表し、腐敗の増加に懸念を表した。主因は公職者による職権乱用や選挙前の資金流用、政治資金の透明性の欠如などが挙げられる。TIZは政治資金規制法の制定や調達制度の強化、法執行機関による調査・処分を提言している。これに対し政府は汚職・腐敗対策は進展しているとし、同団体の発表を公然と非難した。政府の非難に対しては、TIZ側が、ザンビア政府が常々、CPIが上昇した時のみ自己礼賛しスコアが下降した時にはTIZを非難するダブルスタンダードを繰り返していることに苦言を呈した。（関連報道まとめ News Diggers）

4 大統領、保健相と中小企業開発大臣を解任

ヒチレマ大統領は、保健大臣と中小企業開発大臣を即時解任したと発表した。後任は今後発表予定。保健相は2024年7月に保健省へ閣内異動し、薬品盗難や腐敗問題対応を任されていた。一方で中小企業開発相は2021年設立の中小企業開発省初代大臣だったが、大統領の指名による登用だったため、解任により議員資格も即時に喪失した。解任理由は現時点で公表されていない。（2月19日付 News Diggers）

5 ルサカ市内でポリオウイルスを検知

ザンビア保健省は環境・臨床監視を通じてルサカ市内でポリオウイルスを検出したと発表した。麻痺症状を伴う症例はまだ確認されていない。検出されたウイルスはナミビア、アンゴラ由来のものと同様であり、南部アフリカ地域でのポリオ伝播が続いていることを示唆しているとし、政府と保健省は住民に衛生管理と協力を呼びかけ、対応を進めている。（2月21日 News Diggers）

● 外交・対外関係

1 外相、米国で開催された重要鉱物閣僚会議へ出席

ハインベ外務・国際協力大臣は米国を訪問し、重要鉱物閣僚会議へ参加した。同会議は米国國務省主催で、戦略的パートナーシップの構築や鉱物資源の価値向上、付加価値確保を目的としている。ザンビア代表団は米国との関係強化や、ビザ・領事問題など最近注目される外交課題についても協議した。（2月4日付 外務・国際協力省プレスリリース）

2 ガーナ大統領、ザンビアを訪問

2月4日から6日にかけて、ガーナ・マハマ大統領は、国賓としてザンビアを訪問した。訪問の中では両大統領の会談や公式会談、ビジネスフォ

ーラムなどが催された。両大統領は二国間関係を包括的経済パートナーシップへ格上げすることで合意した。また、優先協力分野として、農業・食料システム転換（加工・付加価値）、再生可能エネルギー・電力取引、鉱業付加価値（小規模・違法鉱業対策）、アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）下の貿易・投資促進、廃棄物管理・循環経済、金融テクノロジー・デジタル金融、スキル開発・イノベーション・新技術などを確認、特に鉱業・貿易・投資・フィンテック分野での民間交流と共同事業の推進を奨励した。両国企業間で700万ドル規模の取引が成立し、6,500万ドル規模の交渉中で、約8,000人の雇用創出が見込まれる。訪問中には、航空サービス、外交・一般パスポートの査証免除、標準化・適合性評価、健康協力（越境疾病管理）、災害リスク管理、ディアスポラ協力、貿易・輸出促進、防衛協力など10件のMOUを締結。これらの協定により、連結性・移動の促進、機関間協力、社会経済分野のレジリエンス強化が期待される。

（2月6日 共同コミュニケ）

3 大統領、南ア・マイニングインダバで基調講演

2月9日、ヒチレマ大統領は南ア・ケープタウンで開催されたマイニングインダバへ参加し、基調講演を実施した。講演の中で大統領は、アフリカ域内でのパートナーシップの強化と付加価値向上を訴えるとともに、ザンビアの経済改革の状況について論じた。（2月9日付 ヒチレマ大統領 Facebook）

4 大統領、AU 年次通常総会へ参加

2月13日から15日にかけて、ヒチレマ大統領は、アジスアベバで開催されたAU年次総会へ参加した。本会議の傍らで、ヒチレマ大統領は、ケニア・ルト大統領、エスワティニ・ドラミニ首相と会談し、C10 関係国ミニ首脳会合、児童婚撲滅会合、保健関連の会合へ出席した。（関連報道まとめ）

5 大統領、UNCTAD 事務局長と会談

ヒチレマ大統領は、ルサカを訪問した国連貿易開発会議（UNCTAD）レベッカ・グリンズパン事務局長と会談した。会談では、債務再編におけるUNCTADの支援に感謝が述べられたほか、電子商取引推進への支援にも謝意が表された。（2月15日 大統領 Facebook）

6 大統領、UAE 対外貿易相と会談

ヒチレマ大統領は、ルサカを訪問したゼイユーディ UAE 対外貿易大臣と会談した。会談では、UAE企業による鉱業、観光、食品加工、インフラ、農業などの主要分野でのザンビアでの投資が確認され、更なる関係強化が議論された。（2月17日 大統領 Facebook）

7 大統領、ボツワナ・カズングラを訪問

2月24日、ヒチレマ大統領は、ボツワナ・カサネを訪問し、ボツワナ・ボコ大統領と共にカズングラ橋公社（KBA）の公式発足式を挙行了。KBAはザンビアとボツワナ両政府が共同開発した同橋の管理・運営を担う。ヒチレマ大統領はスピーチの中で、カズングラ橋はザンビアとボツワナだけでなく、ジンバブエやナミビア、さらにSADCやアフリカ全体の資産であり、両国は管理者として責任を持って運営すべきと強調し、同橋を1日1000台のトラックが通行することを目標に据えた。目標達成の暁にはカサネやカズングラの地域経済にも好影響をもたらすと期待を示した。（2月24日 大統領府 Facebook）

8 外相、EU パートナーシップ会合へ参加

ハインベ外相は、ルサカで開催されたEUザンビアパートナーシップ会合へ参加した。会談では、ザンビア側からEUによる継続的な支援に感謝が述べられるとともに、総選挙に向けた選挙監視の協力体制にも謝意が表された。EU大使は、EUのグローバル・ゲートウェイ支援プログラムの下で、

ロビト回廊開発や、気候変動対策など、必要な支援を惜しまないことが表され、地政学的変動や多国間主義への圧力、気候変動や経済変動などの共通課題に直面しつつも、EU が引き続きザンビアの信頼できる長期的パートナーであることが再確認された。(2月27日 外務・国際協力省 Facebook)

(了)